

教育・研究業績書

講座名 眼科学		
＜教員の紹介＞		
教授 妹尾 正 准教授 松島 博之 准教授 千葉 桂三 講師 須田 雄三 講師 高橋 佳二		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
① 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生教育	2004年5月～現在	<p>1年：臨床から学問のすすめ（2009年～）。早期体験学習。2年：早期体験学習。少人数ゼミⅡ（～2006）3年：眼科系統講義、PBL チュートリアル、アレルギー膠原病。4年：症例演習V6, 7, 10, 11, 13, 14、診断学実習、検査医学。5年：BSL。6年：皮膚頭頸部疾患、国家試験ナイター。</p> <p>多様化する社会要求に応ずることのできる臨床医の育成につながり、かつ国家試験への対応を目的とした学生教育を効率よく行うことを目標にして授業構成を行っている。1～2年は、早期体験実習、少人数ゼミなどを通して生涯眼科医ならずとも医師として習得していなければならない、基礎知識や緊急疾患を中心に学べるよう配慮し、一方で医学に対する興味を持てるようカリキュラムを組んでいる。特に医学生として興味を持てるような近年社会的に注目されている疾患や治療法の講義等を盛り込んで行っている。3～4年は眼科の臨床医学を習得できるよう講義を中心に構成している。とくに講義内容は全て学生に教材資料として配布し、また治療法や検査法等具体的に見たほうが理解しやすいような内容は、VTR教材として閲覧できるようにして、より深い知識の習得に努めている。5年はBSLを通してこれまで学んだ知識の整理が出来るよう配慮し、より実践的な診断学と治療学の復習を行える</p>

2. 研修医教育	2004年5月～現在	<p>よう構成している。外来実習では新患のアナムネーゼを担当医とともにとり接遇マナーを含めた臨床学習を、また病棟ではチームごとのクリニカルカンファレンズ、回診を通して治療学を学べるよう構成してある。またこれらを効率よく学習するため眼科 BSL ノートを独自に配布し予習復習の資料としている。6年は、卒業試験、国家試験を念頭に置いたより体系的な他科疾患とのつながり、試験の解答テクニックを講義に盛り込んで行っている。</p> <p>「病める人の心を理解し癒すことが出来る医師」として、医療倫理感の向上や医療に対するモチベーションの維持を目指す一方で、「ベットのサイドマナーや医療過誤の防止、医療技術に対する向上」を確実に習得できるようカリキュラムを組んでいる。具体的には、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カリキュラム表を作成し、これにのっとり知識、技術の習得を行っている。 2) 独自の研修ノートを眼科専門医試験制度のマニュアルにのっとり作成し、それぞれチェックリストを設けることによって、未履修が無いかどうかチェックできるようにしている。 3) 週一回のチームカンファレンス、合同カンファレンス、入院症例検討会、CPC を行い知識の習得と、接遇マナーの教育を行っている。
② 作成した教科書、教材、参考書		
「眼科系統講義」プリント冊子	2004年5月～現在	講義シラバスにのりつた講義プリントを毎回配布。
DVD「眼科検査」「手術」の作成	2005年5月～現在	手術や検査等、動画による学習がより効果的と思われる内容はVTRを作成し閲覧できるように配布する一方で講義にも活用している。
「BSL ノート」の作成	2004年5月～現在	短期間での BSL の効率的な学習を目的として作成。

研修医「研修シラバスノート」の作成	2006年～現在	後期研修医の眼科習得のマニュアルおよび習得の確認チェックポイントを作成し、効率的確実に眼科専門医資格習得を目指す。
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
国家試験対策委員	2004年5月～現在	
研修指導医ワークショップ参加	2004年	研修医指導を目的としたワークショップに参加。
FD委員	2006年4月 ～2009年4月	講義の適正化、向上に従事。
学生部長	2009年5月～現在	学生部長として、学生の福利・厚生に従事。(妹尾)
卒業試験対策委員	2009年5月～現在	卒業試験の適正化、問題作成のブラッシュアップに従事。

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
眼科学	教授	妹尾 正	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1986年 4月～現在	臨床眼科学会	正会員	
1986年 4月～現在	日本眼科学会	正会員	
1987年 4月～現在	日本神経眼科学会	正会員	
1988年 2月～現在	角膜カンファランス・角膜移植学会	正会員	
1989年 1月～現在	日本白内障・日本眼内レンズ屈折手術学会	正会員	
1989年 1月～現在	日本眼科手術学会	正会員	
1990年 10月～現在	American Academy of Ophthalmology(AAO)	正会員	
1990年 10月～現在	日本眼ME学会	正会員	
1991年 4月～現在	International Agency for the Preventing of Blindness(IAPB)	正会員	
1998年 12月～現在	Association for Research in Vision and Ophthalmology(ARVO)	正会員	
2001年 10月～現在	日本眼薬理学会	正会員	
2002年 4月～現在	日本炎症・再生医学会	正会員	
2003年 10月～現在	日本レーザー医学会	正会員	
2000年 4月～現在	Corneal ocular surface in Tokyo (COST)の会	世話人	
2003年 4月～現在	栃木県眼科医会	理事	
2003年 4月～現在	栃木県シェーグレンの会	世話人	
2005年 4月～現在	特定疾患認定委員		
2006年 4月～現在	財団法人栃木県アイバンク	理事	
2006年 4月～現在	栃木県眼科医会	顧問	
2009年 4月～現在	日本眼科学会	評議員	
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>妹尾正</u> : DLKPの合併症. 眼科プラクティス 13 角膜外科のエッセンス IV. 角膜外科の術後合併症とその対策 pp222-227, 2007.			
2. <u>妹尾正</u> : 角膜移植のコツと落とし穴. 樋田哲夫, 江口秀一郎編, 眼科診療のコツと落とし穴 1 『手術前眼部』 pp36-37, 中山書店, 2008.			
3. <u>妹尾正</u> : DLKP(DALK)のコツと落とし穴. 樋田哲夫, 江口秀一郎編, 眼科診療のコツと落とし穴 1 『手術前眼部』 pp50-52, 中山書店, 2008.			
4. <u>妹尾正</u> : 眼外傷. 今日の治療指針 24. 眼疾患 2009年度版 pp1078-1079, 医学書院, 2009.			

【原 著】

欧文

1. Kikuchi M, Deshea L. Harris, Obara Y, Senoo T and Joyce NC: p27kip1 antisense-induced proliferative activity of rat Corneal endothelial cells. IOVS 45: 1763-1770, 2004.
2. Matsushima H, Mukai K, Gotoo N, Yoshida S, Yoshida T, Sawano M, Senoo T, Obara O, Clark JI: The effects of drug delivery via hydrophilic acrylic (Hydrogel) intraocular lens systems on the epithelial cells in culture. Ophthalmic Surgery. Lasers & Imaging 36: 386-392, 2005.
3. Senoo T, Chiba K, Terada O, Mori J, Kusama M, Hasegawa K, Obara Y: Deep Lamellar Keratoplasty by deep parenchyma detachment from the corneal limbs. Br J Ophthalmol 89: 1597-1600, 2005.
4. Kikuchi M, Zbu C, Senoo T, Obara Y, Joyce NC: p27kip1 siRNA induces proliferation in corneal endothelial cells from young but not older donors. Inv Ophthalmol & Vis Sci 47: 4803-4809, 2006.
5. Matsushima H, Iwamoto H, Mukai K, Senoo T, Obara Y: Prevention of posterior capsule opacification using round-edged PMMA IOL. J Cataract Refract Sur 33: 1133-1134, 2007.
6. Senoo T, Chiba K, Terada O, Hasegawa K, Obara Y: Visual acuity prognosis after anterior chamber air replacement to prevent pseudo-anterior chamber formation after deep lamellar keratoplasty. Jpn J Ophthalmol 51:181-184, 2007.
7. Matsushima H, Iwamoto H, Mukai K, Katsuki Y, Nagata M and Senoo T: Preventing secondary cataract and anterior capsule contraction by modification of intraocular lenses. Expert Rev. Med. Devices 5: 197-207, 2008.

和文

1. 吉田陽子, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆, 和田裕靖, 目谷千聡, 吉田紳一郎: 2種アクリル製眼内レンズを使用した白内障硝子体同時手術成績の検討. あたらしい眼科 21: 657-660, 2004.
2. 今高城治, 田所望, 鯉渕桂, 田中宏美, 林光弘, 大倉康男, 下田和孝, 妹尾正, 笠井貴久男, 菅谷仁: 本学における診療参加型臨床実習に関する考察. Dokkyo Journal of Medical Sciences 31: 73-77, 2004.
3. 松本佳浩, 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正, 小原喜隆: 深層角膜移植眼の抜糸後の視機能変化と合併症について. 眼紀 55: 378-382, 2004.
4. 大沼修, 妹尾正, 寺田理, 岸本尚人, 千葉桂三, 小原喜隆: 再発翼状片に対する羊膜を用いた結膜囊再建. 眼臨 98: 756-758, 2004.
5. 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正, 小原喜隆: Meibom腺機能不全患者の眼表面温度とMeibom腺分泌物の融点. 日眼 108: 690-693, 2004.
6. 澤野宗顕, 三須一雄, 松島博之, 石丸慎平, 妹尾正, 小原喜隆: 両眼の眼窩下壁骨折に対して上顎洞内バルーン挿入および骨膜移植術を施行した1例. 臨眼 58: 2147-2151, 2004.
7. 永田万由美, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆, 吉田紳一郎, 目谷千聡: 3種類のアクリル製眼内レンズの術後早期成績の検討. IOS & RS 18: 279-284, 2004.
8. 鈴木重成, 齋藤麻里, 山田篤子, 妹尾正, 小原喜隆, 田村美穂, 大嶋彰, 島津光伸: 細菌固定チップを用いた眼内炎起因菌の判定. 眼紀 56: 118-122, 2005.
9. 野堀秀穂, 高橋佳二, 松島博之, 岸本尚人 妹尾正, 小原喜隆: 若年者糖尿病網膜症に対する硝子体手術成績.

- 眼臨 99: 638-641, 2005.
10. 小出義博, 高橋佳二, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 小原喜隆: 角膜に皮細胞数減少症例の白内障手術経過, あたらしい眼科 22: 1129-1132, 2005.
 11. 菊池通晴, 妹尾正, 石丸慎平, 千葉桂三, 小原喜隆: デスマ膜剥離法を利用した角膜内皮細胞移植. 眼紀 56: 954-957, 2005.
 12. 菊池通晴, 妹尾正, 千葉桂三, 小原喜隆: 水疱性角膜症由来角膜内皮細胞の増殖能. 眼紀 56: 958-960, 2005.
 13. 澤野宗顕, 金沢優美, 佐々木忠昭, 今井裕, 松島博之, 高橋佳二, 妹尾正, 小原喜隆, 三須一雄: 眼窩再建を要した術後性上顎嚢胞の1例. 眼紀 56: 981-984, 2005.
 14. 松井英一郎, 松島博之, 妹尾正, 高橋佳二, 向井公一郎, 青瀬雅資, 小原喜隆, 吉田紳一郎, 吉田登茂子: 実験的グリスニング発生装置の開発. 臨眼 60: 201-204, 2006.
 15. 増淵由佳子, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 高橋佳二, 鈴木重成, 小原喜隆: 裂孔原性網膜剥離の年齢別術後成績の検討. 眼臨 100: 149-152, 2006.
 16. 寺田理, 妹尾正, 千葉桂三, 池田恵理, 小原喜隆: 熱応答ゲル基剤点眼後の角膜涙液交換率. 眼科臨床医報 100: 149-152, 2006.
 17. 大沼修, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆: 白内障超音波乳化吸引術術中の前房内圧変化. あたらしい眼科 23: 1225-1227, 2006.
 18. 妹尾正: 角膜疾患・角膜移植眼における眼内レンズの選択法. IOL & RS 20: 226-228, 2006.
 19. 一杉正仁, 菅谷仁, 平林秀樹, 下田和孝, 妹尾正, 田所望, 古田裕明, 上田秀一: 予備校模擬試験を用いた学生の不得意問題抽出の試み. Dokkyo Journal of Medical Sciences 34: 29-33, 2007.
 20. 向井公一郎, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆: 粘弾性物質を応用した蒸留水灌流と後発白内障抑制. あたらしい眼科 24: 809-814, 2007.
 21. 妹尾正, 高山良, 千葉桂三: レーザー虹彩切開術後水疱性角膜症の病態 —過剰凝固説—. あたらしい眼科 24: 863-869, 2007.
 22. 永田万由美, 松島博之, 向井公一郎, 妹尾正, 小原喜隆: 加齢白内障症例の前房水と水晶体蛋白質の成分解析. あたらしい眼科 24: 1095-1098, 2007.
 23. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 結膜結石の元素分析. 眼臨 101: 1075-1078, 2007.
 24. 高望美, 千葉桂三, 菊池道晴, 妹尾正, 千種雄一: 蜂毒のみで水疱性角膜症と白内障をきたした症例. あたらしい眼科 25: 549-552, 2008.
 25. 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正: マイボーム腺吸引器の試作. 臨眼 62: 995-999, 2008.
 26. 千葉桂三, 寺田理, 向井公一郎, 妹尾正: ヒト結膜神経の免疫染色による比較. 眼紀 1: 876-879, 2008.
 27. 並木滋土, 寺田理, 大沼恵理, 千葉桂三, 妹尾正: 角膜選考に対する生体接着剤を用いた治療的角膜移植術. 眼科手術 21: 501-505, 2008.
 28. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 角結膜知覚と不定愁訴の関係について. 眼紀 1: 868-870, 2008.
 29. 一杉正仁, 菅谷仁, 平林秀樹, 妹尾正, 下田和孝, 田所望, 古田裕明: マークミスが発生率が高い試験問題とは. 獨協医学会 35: 175-178, 2008.
 30. 松井英一郎, 松島博之, 松本佳浩, 妹尾正: 加齢と眼疾患. 獨協医学会 35: 251-258, 2008.
 31. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 加齢および眼手術に伴う結膜を主とした眼表面の知覚変化. 臨眼 62: 1911-1914, 2008.

32. 鈴木重成, 妹尾正: TNF阻害療法中に併発白内障手術を施行したベーチェット病の1症例. 眼科臨床紀要 1: 1168-1171, 2008.
33. 青瀬雅資, 松島博之, 後藤憲仁, 向井公一郎, 妹尾正: インジェクターによる眼内レンズ挿入の角膜および強角膜切開創への影響. IOL & RS 22: 486-489, 2008.

【症例報告】

和文

1. 高山良, 須田雄三, 妹尾正, 吉田紳一郎, 小原喜隆: 硝子体手術により血流改善を認めた切迫型網膜動脈分枝閉塞症の1例. 臨眼 58: 93-97, 2004.
2. 菊池通晴, 妹尾正, 小原喜隆: 内境界膜剥離を施行した小児の特発性網膜前黄斑線維症の1例. 眼紀 57: 222-224, 2006.
3. 石丸慎平, 増淵由佳子, 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正, 小原喜隆: 高圧放水による角膜障害の1例. 眼臨 100: 748-750, 2006.

【総 説】

和文

1. 妹尾正: Deep lamellar keratoplasty (DLKP)後の二重前房. あたらしい眼科 20: 1097-1098, 2003.
2. 妹尾正, 他: 第29回日本眼科手術学会「内皮」レーザー虹彩切開術(LI)後水疱性角膜症の発症機序の一考察. 眼科の臨床と研究 01, Medical Tribune, P58, 2006.

【そ の 他】

和文

1. 妹尾正: 一般講演「網膜酸素飽和度」. 第58回日本臨床眼科学会印象紀, 眼科 47: 629-630, 2005.
2. 妹尾正: Special Interview: オールラウンドな診療の中からこそ医学を前進させる発想は生まれてくる. Medical College Entrance Examination Guide 2007, 教育広報社, pp2-3, 2006.
3. 妹尾正: 時の人: 妹尾正先生. あたらしい眼科 23: 1019, 2006.
4. 妹尾正: ヒト角膜内皮細胞の再生医療に関する基礎研究. 厚生省厚生科学研究費補助金「基盤研究C」平成16~17年度研究報告, 2006, 5.
5. 妹尾正: 手術のよしあし. 東京新聞, 第22952, p22, 2006, 9, 1.
6. 妹尾正監修: 紫外線は眼にも悪影響. 2006カレンダー, BANYU製薬, 2006.
7. 妹尾正: 手術のよしあし. 獨協医科大学学内だより, No. 389, p15, 2006, 12.
8. 妹尾正: The Opinion 教室運営にあたって. 銀海No. 22, p202, 2008, 4.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
眼科学	准教授	松島 博之	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1991年4月～現在	日本眼科学会員		
1991年4月～現在	日本眼科手術学会員		
1998年4月～現在	The Association for Research in Vision and Ophthalmology		
2004年4月～現在	The American Society of Cataract and Refractive Surgery		
2004年4月～現在	Asia Panel of Experts (Cataract)		
2004年4月～現在	US-Japan Corporative Cataract Research Group 世話人		
2005年1月～現在	日本白内障学会評議員		
2005年1月～現在	日本眼内レンズ屈折矯正手術学会編集委員		
2006年1月～現在	日本眼科生体材料および再生医学研究会世話人		
2005年1月～現在	水晶体研究会世話人		
2005年4月～現在	The European Society of Cataract and Refractive Surgery		
2005年4月～現在	Asia Cataract Research Group 世話人		
2006年1月～現在	栃木県眼科医会理事		
2007年1月～現在	日本白内障学会理事		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. <u>松島博之</u> , 小原喜隆: 7. 水晶体 白内障 白内障総論. 眼科診療ガイド, 文光堂, pp246-248, 2004.			
2. <u>松島博之</u> , 小原喜隆: 7. 水晶体 白内障 加齢白内障. 眼科診療ガイド, 文光堂, pp251-252, 2004.			
3. <u>松島博之</u> , 小原喜隆: 7. 水晶体 白内障 併発白内障. 眼科診療ガイド, 文光堂, pp253-254, 2004.			
4. <u>松島博之</u> , 小原喜隆: 7. 水晶体 白内障 糖尿病白内障. 眼科診療ガイド, 文光堂, pp255-256, 2004.			
5. <u>松島博之</u> : II 薬物療法. 眼科ケア 57 夏季増刊 MCメディカ出版, pp140-157, 2004.			
6. <u>松島博之</u> , 小原喜隆: Drug Delivery IOL. 眼科ケア 7(3) メディカ出版, pp92-93, 2005.			
7. 小原喜隆, <u>松島博之</u> : III 眼内レンズのデザイン, 材質と特性 4 物理的特性. 眼内レンズを科学する メディカル葵出版, pp20-24, 2006.			
8. <u>松島博之</u> : X 眼内レンズと後発白内障 3 後発白内障の化学的抑制方法. 眼内レンズを科学する メディカル葵出版, pp102-104, 2006.			
9. 後藤憲仁, 寺内涉, <u>松島博之</u> : 細隙灯顕微鏡はどうやって使うか. 若倉雅登, 稲富誠編, 眼科実践 Q & A 「診療力」を鍛える 114 題 南江堂, pp12-12, 2008.			
10. <u>松島博之</u> : 眼内レンズはどのような点に注意して選択すべきか. 若倉雅登, 稲富誠編, 眼科実践 Q & A 「診療力」を鍛える 114 題 南江堂, pp152-153, 2008.			

11. 松島博之: 超音波乳化吸引術ではどのような術中設定にすればよいか. 若倉雅登, 稲富誠編, 眼科実践 Q & A 「診療力」を鍛える 114 題 南江堂, pp158-160, 2008.
12. 松井英一郎, 松島博之: 後発白内障に対する YAG レーザーの適切な使用法は. 若倉雅登, 稲富誠編, 眼科実践 Q & A 「診療力」を鍛える 114 題 南江堂, pp166-168, 2008.
13. 松島博之: 白内障. 今日の治療指針 24 眼科疾患 2009 年度版 医学書院, pp1067-1068, 2009.
14. 松島博之: 核の硬さの診かた. 白神史雄, 前田直之, 谷原秀信, 黒坂大次郎編, 眼科インストラクションコース 18 眼科診療のスキルアップ 白内障・小児・ぶどう膜炎編 メジカルビュー社, pp24-28, 2009.
15. 松島博之: 切開時のトラブル. 常岡寛, 永本敏之, 徳田芳浩編, 白内障術中トラブルとリカバリーの基本 中山書店, pp8-35, 2009.

【原 著】

欧文

1. Matsushima H, Mukai K, Obara Y, Yoshida S, Clark JI: Analysis of cytoskeletal proteins in posterior capsule opacification after implantation of acrylic and hydrogel intraocular lenses. J Cataract Refract Surg 30: 187-194, 2004.
2. Matsushima H, Mukai K, Yoshida S, Obara Y: Effects of calcium on human lens epithelial cells in vitro. Jpn J Ophthalmol 48: 97-100, 2004.
3. Matsushima H, Mukai K, Gotoo N, Yoshida S, Yoshida T, Sawano M, Senoo T, Obara Y, Clark JI: The effects of drug delivery via hydrophilic acrylic (Hydrogel) intraocular lens systems on the epithelial cells in culture. Ophthalmic Surgery. Lasers & Imaging 36: 386-392, 2005.
4. Matsushima H, Matsui E: Blue-light filtering intraocular lens. IOL & RS 19: 275-279, 2005.
5. Matsushima H, Iwamoto H, Mukai K, Obara Y: Active oxygen processing for acrylic intraocular lenses to prevent posterior capsule opacification. J Cataract Refract Surg 32: 1035-1040, 2006.
6. Matsushima H, Iwamoto H, Mukai K, Senoo T, Obara Y: Prevention of posterior capsule opacification using round-edged PMMA IOL. J Cataract Refract Surg 33: 1133-1134, 2007.
7. Gotoh N, Perdue NR, Matsushima H, Sage EH, Yan Q, Clark JI: An in vitro model of posterior capsular opacity: SPARC and TGF- β 2 minimize epithelial-to-mesenchymal transition in lens epithelium. Invest Ophthalmol Vis Sci 48: 4679-4687, 2007.
8. Matsushima H, Iwamoto H, Mukai K, Katsuki Y, Nagata M and Senoo T: Preventing secondary cataract and anterior capsule contraction by modification of intraocular lenses. Expert Rev. Med. Devices 5: 197-207, 2008.
9. Nagata M, Matsushima H, Mukai K, Terauchi W, Gotoh N, Matsui E: Comparison of anterior capsule contraction between 5 foldable intraocular lens models. J Cataract Refract Surg 34: 1495-1498, 2008.
10. Mukai K, Matsushima H, Sawano M, Nobori H, Obara Y: Photoprotective effect of yellow-tinted intraocular lenses. Jpn J Ophthalmol 53: 47-51, 2009.

和文

1. 吉田陽子, 松島博之妹尾正, 小原喜隆, 和田裕靖, 目谷千聡, 吉田紳一郎: 2種アクリル製眼内レンズを使用し

- た白内障硝子体同時手術成績の検討. あたらしい眼科 21: 657-660, 2004.
2. 松島博之: 特集「眼内レンズの進歩」Drug Delivery IOL. あたらしい眼科 21: 607-613, 2004.
 3. 吉田紳一郎, 吉田登茂子, 松島博之, 小原喜隆 安達ゆかり: 新しい後発白内障解析システムを用いた後囊混濁の評価. あたらしい眼科 21: 661-666, 2004.
 4. 齋藤実, 枝美奈子, 松島博之 吉田紳一郎 小原喜隆: 眼内レンズ別後発白内障切開術後の屈折値、前房深度の変化. あたらしい眼科 21: 981-985, 2004.
 5. 松島博之, 向井公一郎, 小原喜隆: アクリル製眼内レンズの水晶体上皮細胞増殖抑制効果. 眼科手術 17: 597-601, 2004.
 6. 松島博之: 創口作製不備. 白内障手術の傾向と対策—術中・術後合併症と難治症例 I. 術中合併症の予防と対処. 臨床眼科 58(増刊): 20-26, 2004.
 7. 松島博之: 無水晶体眼の白内障手術. 白内障手術の傾向と対策—術中・術後合併症と難治症例 III. ハイリスク症例—私はこうする. 臨床眼科 58(増刊号): 215-219, 2004.
 8. 永田万由美, 松島博之, 妹尾正 小原喜隆, 吉田紳一郎, 目谷千聡: 3種類のアクリル製眼内レンズの術後早期成績の検討. IOS & RS 18: 279-284, 2004.
 9. 和泉田真作, 高橋佳二, 松島博之, 澤野宗頭, 後藤憲仁, 野堀秀穂, 寺田理, 小原喜隆: 獨協医科大学眼科における穿孔生眼外傷の予後不良因子. 眼紀 55: 963-968, 2004.
 10. 野堀秀穂, 高橋佳二, 松島博之, 岸本尚人, 妹尾正, 小原喜隆: 若年者糖尿病網膜症に対する硝子体手術成績. 眼臨 99: 638-641, 2005.
 11. 武島俊介, 吉田紳一郎, 目谷千聡, 吉田登茂子, 間島隆宏, 松島博之, 枝美奈子, 小原喜隆: 白内障手術における各種粘弾性物質の角膜内皮保護効果. 眼科手術 18: 409-412, 2005.
 12. 小出義博, 高橋佳二, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 小原喜隆: 角膜に皮細胞数減少症例の白内障手術経過. あたらしい眼科 22: 1129-1132, 2005.
 13. 松島博之: 水晶体の加齢変化. 眼科 47: 1041-1053, 2005.
 14. 松島博之: 後発白内障の完全征服を旨として—ドレッジデリバリー効果—. 臨床眼科 59: 291-299, 2005.
 15. 枝美奈子, 松島博之, 小原喜隆: 異なる超音波乳化吸引設定による粘弾性物質の前房内動態. あたらしい眼科 22: 1567-1571, 2005.
 16. 松島博之: 着色眼内レンズ. IOL&RS 19: 275-279, 2005.
 17. 青瀬雅資, 松島博之, 永田万由美, 松井英一郎 小原喜隆, 吉田紳一郎, 和田裕靖: 4種類のアクリル製眼内レンズの術後早期成績. IOL & RS 19: : 435-440, 2005.
 18. 枝美奈子, 松島博之, 寺内渉, 向井公一郎, 和泉田真作, 小原喜隆, 吉田紳一郎, 武島俊介: 各種粘弾性物質の前房内滞留性と角膜内皮保護作用. 日本眼科学会 110: 31-36, 2006.
 19. 松井英一郎, 松島博之, 妹尾正 高橋佳二, 向井公一郎, 青瀬雅資, 小原喜隆, 吉田紳一郎, 吉田登茂子: 実験的グリミング発生装置の開発. 臨床眼科 60: 201-204, 2006.
 20. 松島博之, 小出義博, 大木孝太郎: 高頻回パルスモードを使用した超音波乳化吸引の効果. IOL & RS 20: 29-32, 2006.
 21. 向井公一郎, 松島博之, 石井康雄, 小原喜隆: 培養家兎水晶体上皮細胞に対するカルシウムの影響. 日本眼科学会雑誌 110: 361-369, 2006.
 22. 小出義博, 松島博之: 落屑症候群の白内障手術. IOL & RS 20: 125-130, 2006.

23. 増淵由佳子, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 高橋佳二, 鈴木重成, 小原喜隆: 裂孔原性網膜剥離の年齢別術後成績の検討. 眼科臨床医報 100: 149-152, 2006.
24. 大沼修, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆: 白内障超音波乳化吸引術術中の前房内圧変化. あたらしい眼科 23: 1225-1227, 2006.
25. 松島博之, 野堀秀穂: 白内障切開創の極小化におけるスリットナイフの精度. 眼科手術 20: 49-53, 2007.
26. 松島博之: 白内障術中合併症のリカバリー法 切開創作成時. IOL & RS 21: 95-99, 2007.
27. 野堀秀穂, 松島博之, 高橋佳二, 小原喜隆: 各種スリットナイフによる創形成および切開創への負荷. 眼科手術 20: 247-250, 2007.
28. 松島博之: 眼内レンズ—最近の進歩. 臨床眼科 61: 697-704, 2007.
29. 向井公一郎, 松島博之, 妹尾正, 小原喜隆: 粘弾性物質を応用した蒸留水灌流と後発白内障抑制. あたらしい眼科 24: 809-814, 2007.
30. 永田万由美, 松島博之, 向井公一郎, 妹尾正, 小原喜隆: 加齢白内障症例の前房水と水晶体蛋白質の成分解析. あたらしい眼科 24: 1095-1098, 2007.
31. 小出義博, 松島博之, 大木孝太郎: オペセーバーの効果. IOL & RS 21: 433-436, 2007.
32. 永田万由美, 松島博之: 囊収縮と眼内レンズの偏位. IOL & RS 22: 3-9, 2008.
33. 松井英一郎, 松島博之, 松本佳浩, 妹尾正: 加齢と眼疾患. 獨協医学会 35: 251-258, 2008.
34. 青瀬雅資, 松島博之, 後藤憲仁, 向井公一郎, 妹尾正: インジェクターによる眼内レンズ挿入の角膜および強角膜切開創への影響. IOL & RS 22: 486-489, 2008.
35. 松島博之: フェイコマシンの基本と設定値. IOL & RS 23: 103-107, 2009.

【症例報告】

和文

1. 澤野宗頭, 三須一雄, 松島博之, 石丸慎平, 妹尾正, 小原喜隆: 両眼の眼窩下壁骨折に対して上顎洞内バルーン挿入および骨膜移植術を施行した1例. 臨床眼科 58: 2147-2151, 2004.
2. 澤野宗頭, 金沢優美, 佐々木忠昭, 今井裕, 松島博之, 高橋佳二, 妹尾正, 小原喜隆, 三須一雄: 眼窩再建を要した術後性上顎嚢胞の1例. 眼紀 56: 981-984, 2005.

【総 説】

和文

1. 松島博之: II薬物療法. 眼科ケア 57 夏季増刊: 140-157, MCメディカ出版, 2004.
2. 松島博之: 「眼内レンズの進歩」 Drug Delivery IOL. あたらしい眼科 21: 607-613, 2004.
3. 松島博之: 創口作製不備. 白内障手術の傾向と対策—術中・術後合併症と難治症例 I. 術中合併症の予防と対処. 臨床眼科 58(増刊号): 20-26, 2004.
4. 松島博之: 無水晶体眼の白内障手術 白内障手術の傾向と対策—術中・術後合併症と難治症例 III. ハイリスク症例—私はこうする. 臨床眼科 58(増刊号): 215-219, 2004.
5. 松島博之: 後発白内障の完全征服を旨として—ドラッグデリバリー効果—. 臨床眼科 59: 291-299, 2005.
6. 松島博之: 着色眼内レンズ. IOL&RS 19: 275-279, 2005.
7. 松島博之: 水晶体の加齢変化. 眼科 47: 1041-1053, 2005.

8. 松島博之: 硝子体手術による水晶体酸素分圧の変化: 核白内障発症メカニズムの仮説. 日本の眼科 77: 21-22, 2006.
9. 松島博之: 高齢者に多い眼疾患—診断と治療, 予防—2) 老人性白内障. Geriatric Medicine 44: 1231-1235, 2006.
10. 松島博之: Malyugin瞳孔拡張器のintraoperative floppy-iris syndrome (IFIS)への使用経験. 日本の眼科 79: 1095-1096, 2008.
11. 松島博之: 最近の眼内レンズと色覚. 眼科ケア 10: 88-92, 2008.
12. 松島博之: わかりやすい後発白内障抑制研究講座. IOL & RS 21: 210-216, 2007.
13. 後藤憲仁, 松島博之: 再生医療・生体材料研究会—日本眼科生体材料および再生医学研究会, 第62回日本臨床眼科学会講演集 専門別委員会. 臨床眼科 63: 578-579, 2009.

【その他】

欧文

1. Matsushima H: “The Road to Phaco Mastery: The Phaco Technique Grading System”. ESCRS/Alcon Video Competition 2008, Berlin, 2008. 9. 14.

和文

1. 松島博之: US-Japan CCRG Meeting印象記. 日本白内障学会誌 16: 48-49, 2004.
2. 松島博之: 一般講演「白内障」. 第58回日本臨床眼科学会印象紀. 眼科 47: 563-564, 2005.
3. 松島博之: 日経メディクイーズ-10. Nikkei Medical, 89-90, 2006.
4. 林研, 松島博之: 後発白内障の予防と対策. 第44回日本白内障学会シンポジウムオーガナイザー印象記. 日本白内障学会誌 18: 19-20, 2006.
5. 崎尾秀彰, 吉田謙一郎, 錦見俊雄, 松島博之, 大島教子, 佐々木光, 松村美穂子, 吉野篤範, 白田佑子, 目黒紗林子, 篠原万里枝: B S Lの今後のカリキュラム及び学生と教員の評価方法. 第11回医学教育ワークショップ, 日光市, 2006, 9, 2.
6. 松島博之: ネパールでのフェイク教育セミナーに参加して. 日本白内障学会誌 20: 40-41, 2008.
7. 松島博之: 「Glaucoma」Views from Asia-Pacific. Eye World Asia-Pacific, 46, March 2008.
8. 松島博之: 医療者のつぶやき「初心忘るべからず」. 東京新聞, 2008, 10, 9.
9. 松島博之: 「どうしました」後発白内障. 朝日新聞, 2009, 2, 15.

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
眼科学	准教授	千葉 桂三	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1979年5月～現在	日本眼科学会員		
1994年2月～現在	日本角膜学会員		
1995年2月～現在	日本角膜移植学会員		
1989年4月～2007年6月	栃木県眼科医会理事		
2001年6月～現在	栃木県社会保険診療報酬請求書審査委員会審査委員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
欧文			
1. Senoo T, <u>Chiba K</u> , Terada O, Mori J, Kusama M, Hasegawa K, Obara Y: Deep Lamellar Keratoplasty by deep parenchyma detachment from the corneal limbs. Br J Ophthalmol 89: 1597-1600, 2005.			
2. Senoo T, <u>Chiba K</u> , Terada O, Hasegawa K, Obara Y: Visual acuity prognosis after anterior chamber air replacement to prevent pseudo-anterior chamber formation after deep lamellar keratoplasty. Jpn J Ophthalmol 51:181-184, 2007.			
和文			
1. 松本佳浩, 寺田理, <u>千葉桂三</u> , 妹尾正, 小原喜隆: 深層角膜移植眼の抜糸後の視機能変化と合併症について. 眼紀 55: 378-382, 2004.			
2. 池田恵理, 寺田理 岸本陽子, <u>千葉桂三</u> , 小原喜隆: 熱応答ゲル点眼液の眼表面の動態と併用薬剤への影響. あたらしい眼科 21: 401-404, 2004.			
3. 大沼修, 妹尾正, 寺田理, 岸本尚人, <u>千葉桂三</u> , 小原喜隆: 再発翼状片に対する羊膜を用いた結膜囊再建. 眼科臨床医報 98: 756-758, 2004.			
4. 寺田理, <u>千葉桂三</u> , 妹尾正, 小原喜隆: Meibom腺機能不全患者の眼表面温度とMeibom腺分泌物の融点. 日本眼科学会雑誌 108: 690-693, 2004.			
5. 菊池通晴, 妹尾正, 石丸慎平, <u>千葉桂三</u> , 小原喜隆: デスマ膜剥離法を利用した角膜内皮細胞移植. 眼紀 56: 954-957, 2005.			
6. 菊池通晴, 妹尾正, <u>千葉桂三</u> , 小原喜隆: 水疱性角膜症由来角膜内皮細胞の増殖能. 眼紀 56: 958-960, 2005.			
7. 寺田理, 妹尾正, <u>千葉桂三</u> , 池田恵理, 小原喜隆: 熱応答ゲル基剤点眼後の角膜涙液交換率. 眼科臨床医報 100: 149-152, 2006.			
8. 妹尾正, 高山良, <u>千葉桂三</u> : レーザー虹彩切開術後水疱性角膜症の病態 一過剰凝固説一. あたらしい眼科 24:			

863-869, 2007.

9. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 結膜結石の元素分析. 眼科臨床医報 101: 1075-1078, 2007.
10. 高望美, 千葉桂三, 菊池道晴, 妹尾正, 千種雄一: 蜂毒のみで水疱性角膜症と白内障をきたした症例. あたらしい眼科 25: 549-552, 2008.
11. 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正: マイボーム腺吸引器の試作. 臨床眼科 62: 995-999, 2008.
12. 千葉桂三, 寺田理, 向井公一郎, 妹尾正: ヒト結膜神経の免疫染色による比較. 眼紀 1: 876-879, 2008.
13. 並木滋土, 寺田理, 大沼恵理, 千葉桂三, 妹尾正: 角膜穿孔に対する生体接着剤を用いた治療的角膜移植術. 眼科手術 21: 501-505, 2008.
14. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 角結膜知覚と不定愁訴の関係について. 眼紀 1: 868-870, 2008.
15. 千葉桂三, 寺田理, 妹尾正: 加齢および眼手術に伴う結膜を主とした眼表面の知覚変化. 臨床眼科 62: 1911-1914, 2008.

【症例報告】

和文

1. 石丸慎平, 増淵由佳子, 寺田理, 千葉桂三, 妹尾正, 小原喜隆: 高圧放水による角膜障害の1例. 眼科臨床医報 100: 748-750, 2006.

【総説】

和文

1. 千葉桂三: 獨協医科大学眼科のコンタクトレンズ診療の巻. 日本コンタクトレンズ学会誌 48: 119-120, 2006.

【その他】

教育・研究業績書

講座名	職名	氏名	
眼科学	講師	須田 雄三	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年5月～現在	日本眼科学会員		
2004年1月～現在	日本網膜硝子体学会員		
2009年5月～現在	日本眼科手術学会員		
2007年7月～2009年6月	栃木県眼科医会員		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
【原 著】			
和文			
1. 高山良, 松本佳浩, <u>須田雄三</u> , 妹尾正, 小原喜隆, 湊あこ: 高血圧性網膜症にて発見された若年性褐色細胞腫の1例. 臨床眼科 57: 1705-1709, 2003.			
【症例報告】			
和文			
1. 高山良, <u>須田雄三</u> , 妹尾正, 吉田紳一郎, 小原喜隆: 硝子体手術により血流改善を認めた切迫型網膜動脈分枝閉塞症の1例. 臨床眼科 58: 93-97, 2004.			
【総 説】			
【そ の 他】			

教育・研究業績書

講座名 眼科学	職名 講師	氏名 高橋 佳二	大学院の研究指導担当資格 有
------------	----------	-------------	----------------

Ⅱ 学会等および社会における主な活動

1986年6月～現在	日本眼科学会員
2009年5月～現在	日本眼科手術学会員

Ⅲ 研究活動

【学位論文】

【著 書】

【原 著】

和文

1. 和泉田真作, 高橋佳二, 松島博之, 澤野宗頭, 後藤憲仁, 野堀秀穂, 寺田理, 小原喜隆: 獨協医科大学眼科における穿孔生眼外傷の予後不良因子. 眼紀 55: 963-968, 2004.
2. 野堀秀穂, 高橋佳二, 松島博之, 岸本尚人, 妹尾正, 小原喜隆: 若年者糖尿病網膜症に対する硝子体手術成績. 眼臨 99: 638-641, 2005.
3. 小出義博, 高橋佳二, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 小原喜隆: 角膜に皮細胞数減少症例の白内障手術経過. あたらしい眼科 22: 1129-1132, 2005.
4. 澤野宗頭, 金沢優美, 佐々木忠昭, 今井裕, 松島博之, 高橋佳二, 妹尾正, 小原喜隆, 三須一雄: 眼窩再建を要した術後性上顎嚢胞の1例. 眼紀 56: 981-984, 2005.
5. 松井英一郎, 松島博之, 妹尾正, 高橋佳二, 向井公一郎, 青瀬雅資, 小原喜隆, 吉田紳一郎, 吉田登茂子: 実験的グリニン発生装置の開発. 臨床眼科 60 201-204, 2006.
6. 増淵由佳子, 松島博之, 寺田理, 妹尾正, 高橋佳二, 鈴木重成, 小原喜隆: 裂孔原性網膜剥離の年齢別術後成績の検討. 眼科臨床医報 100: 149-152, 2006.
7. 野堀秀穂, 松島博之, 高橋佳二, 小原喜隆: 各種スリットナイフによる創形成および切開創への負荷. 眼科手術 20: 247-250, 2007.

【症例報告】

【総 説】

【そ の 他】